

## 化学工学で気候変動を乗り越える

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2023年08月03日 ～2023年08月12日	台湾	台湾科技大学 ウィディアマンダーラカトリック大学スラバヤ	・応用化学科 ・学部1年生、学部2年生、学部3年生、学部4年生	(芝浦工業大学) 学生5名、教員2名 (台湾科技大学) 学生19名、教員5名 (ウィディアマンダーラカトリック大学スラバヤ) 学生5名 (大阪工業大学) 学生10名、教員1名	吉見 靖男(応用化学科)、野村 幹弘(応用化学科)



図1 国立台湾大学の研究室にて

国立台湾科技大学化学工学科が主宰するInternational Joint Activityに参加した。

- (1) 国立台湾科技大学、Widya Mandala Catholic University、大阪工業大学、芝浦工業大学でチームをを組み、「温暖化防止の解決のために有効な脱炭素化技術」を調査して議論し、発表した。
- (2) 台北市の電力会社を見学し、温暖化ガス削減の取り組みについて学んだ。
- (3) 国立台湾大学、台湾科技大学の分離工学の研究室を見学した。



図2 国立台湾科技大学化学工学科



図3 プレゼン終了後



図4 エクスカーションで訪れた龍山時